



帯山2町内
“未来をつくる会”

私がやりたいこと(趣味・楽しいこと)

社会が求めていること

私がやること
 ◎ほがらかサロン
 ◎お助け隊
 ◎健康づくり活動

●田
 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける。
 自助:自分のことを自分でする。健康管理。
 互助:高齢者によるボランティア・生きがい就業。

●熊本市
 ・高齢者の生きがいづくりや社会参加と促進。
 ・生活習慣病を始めた高齢者からの健康づくり・介護予防の取り組みを推進していく必要がある。

●2町内アンケート結果
 (受けたいサービス)
 ・粗大ごみの処分、見回り・声かけ、衣周りの手入れ、家の中の修理、買い物送迎・買い物代行など。
 ・歩いていける場で筋力低下を予防するサービス、健康教室など。

帯山校区 2町内自治会

平成28年度
民間活動促進事業(熊本県)

熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山
 (熊本市中央6地域包括支援センター)
 生活支援コーディネーター 芹川 真寿美

中学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議—H26年度 (課題の整理と方針の決定)

各校区社協長、民児協会長
自治協議会会長

包括／SC

熊本学園大学
社会福祉学部准教授

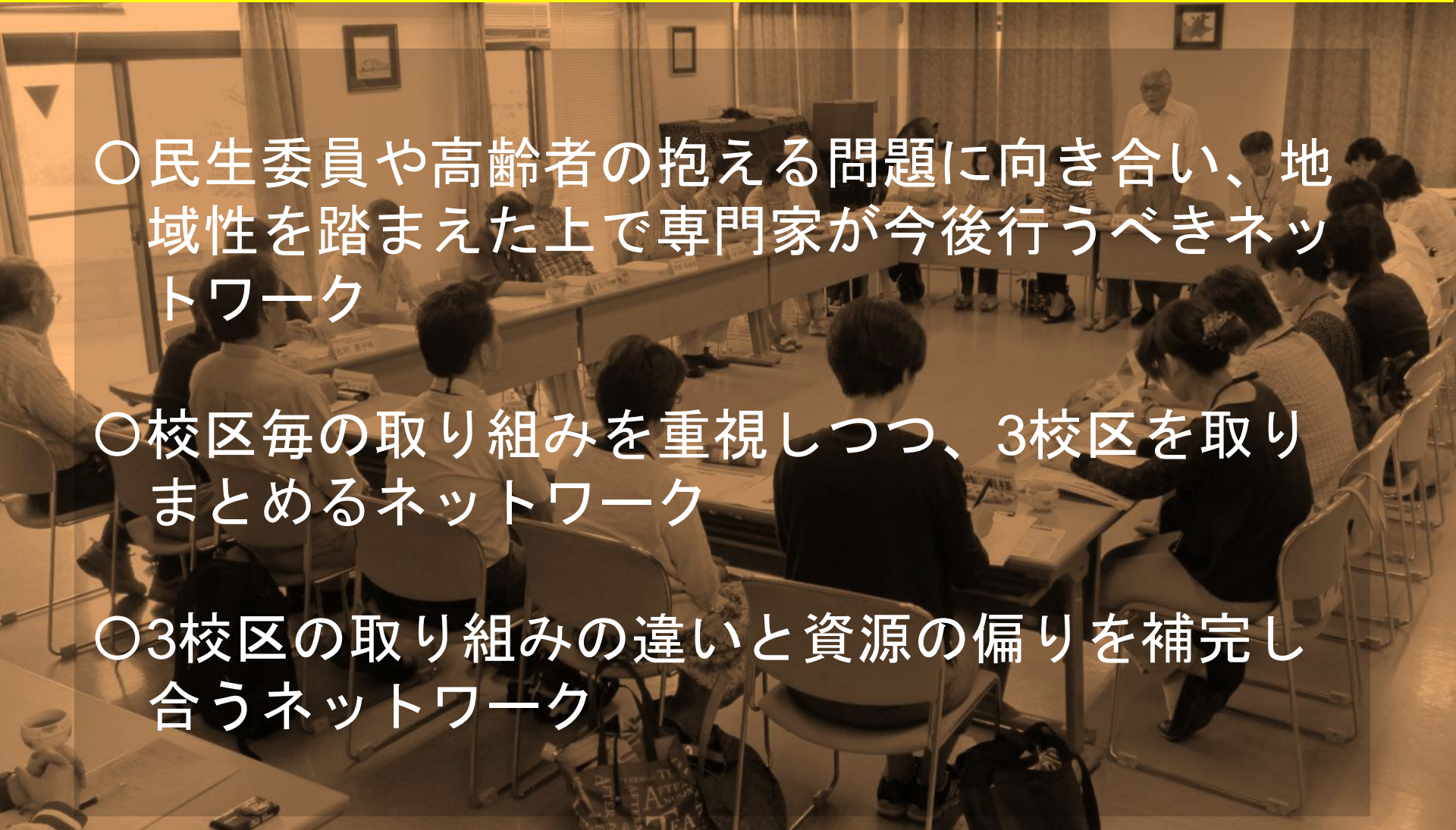
圏域内
主任ケアマネジャー

熊本市社協

熊本市保健子ども課

地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会
—中学校区レベル(託麻原・帯山・帯山西)—

中学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議—H26年度 (課題の整理と方針の決定)

- 
- 民生委員や高齢者の抱える問題に向き合い、地域性を踏まえた上で専門家が今後行うべきネットワーク
 - 校区毎の取り組みを重視しつつ、3校区を取りまとめるネットワーク
 - 3校区の取り組みの違いと資源の偏りを補完し合うネットワーク

地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会
—中学校区レベル(託麻原・帯山・帯山西)—

環境の変化を促す活動



平成28年度秋の高齢者の集い

平成27年度春の高齢者の集い



「地域支え合い“共同”体制づくり」によるネットワークの推進

(託麻原・**帯山**・帯山西)

- 民生委員や高齢者の抱える問題に向き合い、地域性を踏まえた上で専門家が今後行うべきネットワーク
- 校区毎の取り組みを重視しつつ、3校区を取りまとめるネットワーク
- 3校区の取り組みの違いと資源の偏りを補完し合うネットワーク

平成27年度

平成28年度

社会資源調査/ 町内実情把握

- 介護予防活動視察 (ささえりあ浄行寺圏域)
- メンバー
 - ・民児協会長 (帯山西校区と同行)
 - ・広域リハ、包括
- 目的
 - ・住民主体で、理学療法士、事業所、広域リハからの技術支援の運営手法を学ぶ
- 各町内単位での協議、情報の整理・確認

活動の 充実と創出

- 2町内サロン
 - ・高齢と障がい(就労継続支援事業所)、医療(在宅療養支援診療所)との融合
 - ・外出支援
- 5町内サロン
 - ・子ども会との世代間交流
- パソコン教室
 - ・現役時代の能力を活かした活動
 - ・新たにチャレンジする活動

住民、関係機関 への働きかけ

- 帯山2町内自治会(壮年会)の活動
- ① 壮年会(老人会)の再編
- ② 補助金申請(熊本県民間活動促進事業)
- ③ 先進地視察研修(合志市、山鹿市)
- ④ ワークショップの開催
 - ・“未来を語ろう会”
 - ・“未来をつくる会”

足りない活動の 協議と創出

- 帯山2町内自治会(壮年会)の活動
 - ① 「ほがらかサロン」
 - ② 「お助け隊」
 - ③ 「健康づくり活動」
- 他町内・他校区への影響
 - ・3町内、4町内、7町内
 - ・帯山西校区、託麻原校区

身近な町内につどいの場を創出

多様な活動を町内単位で

基本理念

- 2町内は大家族(温かい寛大な心で)
- 組織として活動する自治会
(一人の100歩より100人の一歩)
- 理事は1人1役(28名)(人材探し)

※民生児童委員、防犯協会、交通安全協会、体育協会、子ども会。内部組織として公園愛護会、女性会、壮年クラブ、自主防災クラブ、各班長



挨拶運動の取り組み

挨拶運動の標語募集(小学校、中学校、町民)

町民による審査(回覧板活用)

自治会で表彰(16年、19年、22年に実施)



小学生部門 (★印は2町内)				
優秀賞	あいさつで 深まるきずな 地域の輪	成	6	年
優良賞	あいさつと 笑顔で 今日も純粋顔	森	6	年
優良賞★	ケンカして 笑顔でおはよう 仲なおり	工	4	年
優良賞★	あいさつで 心はとつても いい天気	坂	4	年
佳作	こんにちは ちいきの人と お友だち	松	2	年
佳作	あいさつは 元気になる あい言葉	上	5	年
中学生部門				
優秀賞	あいさつで明るい町の基礎作り	堀	3	年
優良賞	「こんにちは」行き交う人への贈り物	堂	3	年
優良賞	あいさつで笑顔が咲くよこの街に	池	3	年
佳作	あいさつが人の心を温める	森	3	年
佳作	あいさつで心と心がよいあう	飯	3	年
大人部門				
優秀賞	あいさつで 光る笑顔が美しい	作		
優良賞	あいさつがとびかう町に犯罪なし	米		
優良賞	あいさつで 心のとびら あけようよ	吉		
佳作	あいさつのとびかう町の気持ちよさ	島		
佳作	挨拶で まなへつ華を 創すまはり	な		

あいさつ標語各賞が決定!



毎月行われている資源回収
高齢者のお宅の玄関先まで資源物
を取りに行きます

- ★ 明るく住みよい町づくり(安全・安心快適なまちづくり)
- ★ 犯罪の起きにくい町づくり(犯罪抑止力を高める)

- ①夜のパトロール(毎月20日)
- ②子ども見守り隊(月・金の下校時)及び高齢者への声掛け
- ③夜でも顔が見える町(LED)
- ④ゴミ拾い(子ども見守りパトロール)
- ⑤空き地の雑草刈



2町内自治会のスローガン

あいさつが飛び交う、明るく住みよい町づくり



帯山小学校



帯山中学校



帯山幼稚園



高野病院

平成26年2月

町内 “お助け隊” 発足

サロンオープン

平成27年8月



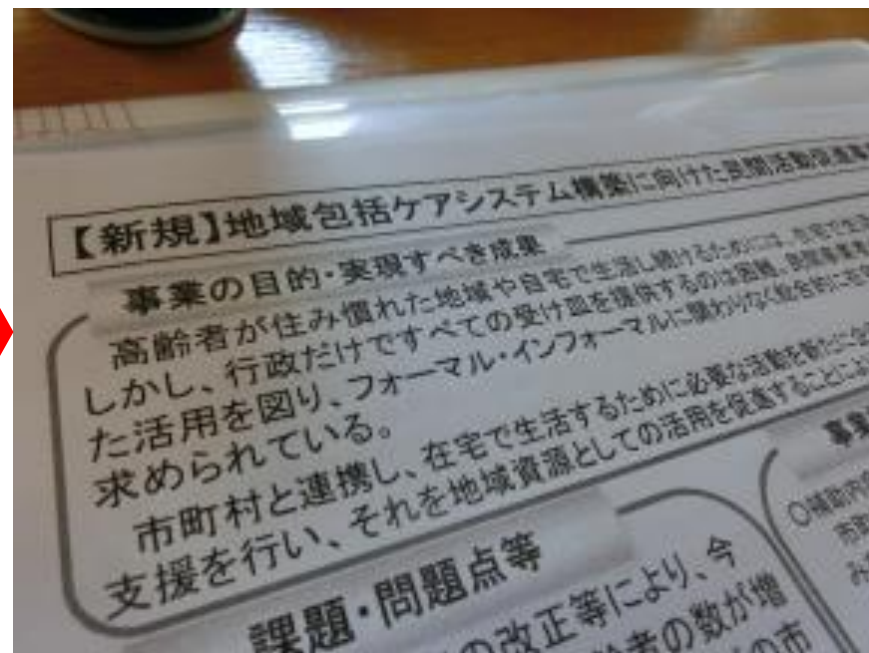


4月—熊本地震

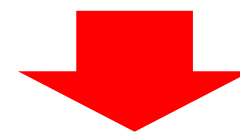
地域リーダー・各種団体への根回し



既存の老人会を再編



熊本県民間活動促進事業の情報入手



帯山校区2町内自治会(壮年会)への生活支援・介護予防への取り組み



熊本県民間活動促進事業の情報提供



熊本県民間活動促進事業の内容説明



熊本県民間活動促進事業計画の協議

まとめて、
分ち合う

場をつくり、
つな
げる

かみ合
わせて、
整理する



熊本県民間活動促進事業の申請検討

受け止
めて、
引き
出す

町内単位での具体的な活動の協議 (資源開発と提供体制づくり)

目的、目指すべき姿等
情報提供と共有



民児協会長

熊本市社協

自治会副会長

自治会長

自治会副会長

熊本市
高齢介護福祉課

包括/SC

高齢者のニーズに応じた 「お助け隊」による 生活支援サービス事業

「お助け隊」に対する住民の要望、 アンケート調査(全戸回覧)

高齢者支援・要望調査の(町内全世帯へ)お願い 平成28年11月

この度、帯山2町内自治会では、お一人暮らし・ご夫婦お二人暮らしの高齢者支援
要望の調査を行うことにいたしました。調査の内容は「ご高齢者が、自宅で安心して
生活を続けられるようにするために、何を求めているか」を把握することを
目的とします。調査対象は、要介護の認定を受けていない方々です。

調査結果は、今後増加する一人暮らし高齢者の生活を支援する方策を検討する
上で貴重な資料となるものです。調査内容をご一読いただき、調査の趣旨を
ご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 問1 家族構成 1.男性 年齢 歳 2.女性 年齢 歳
3.子ども 人 4.孫 人
- 問2 お住いの班 1班 2班 3班 4班 5班 6班
- 問3 暮らしや健康、趣味も含めて相談できる「気軽に集える場(おしゃべりなど)」
が地域にあれば利用したいですか
1.はい 2.いいえ 3.わからない
- 問4 今後、受けたいと思うサービスは？(〇はいくつでも)
1 粗大ごみの処分
2 買い物送迎・買い物代行
3 家周りの手入れや家の中の修理(草取りや電球の交換など)
4 屋内の片付け(家具の移動など)
5 歩いて行ける場所に集まって食事が摂れるサービス
6 歩いて行ける場所で筋力低下を予防するサービス
7 見回り・声かけ
8 健康教室
9 その他()
- 問5 今後、参加したい健康教室の内容はなんですか？(〇はいくつでも)
1 足腰をきたえる運動 4 認知症予防の教室
2 食や栄養改善を学ぶ 5 うつ病予防の教室
3 口の手入れを学ぶ 6 その他()
- 問6 近くにお住いの高齢者の為に、何かできる事はありますか？
1 声かけ(話し相手など) 5 調理の手伝い
2 ゴミ出しの手伝い 6 家周りや屋内作業の手伝い
3 買い物の手伝い 7 その他()
4 外出時の付き添い 8 特になし
9 条件付きでできる(・週に一回 ・午前 ・午後 ・その他)
10 あなたの得意なこと()
- 問7 自由回答-日々の暮らしでの困りごと、今後の心配ごとなど

*さしつかえなければ お名前をご記入ください

氏名 _____ 年齢 _____ 歳

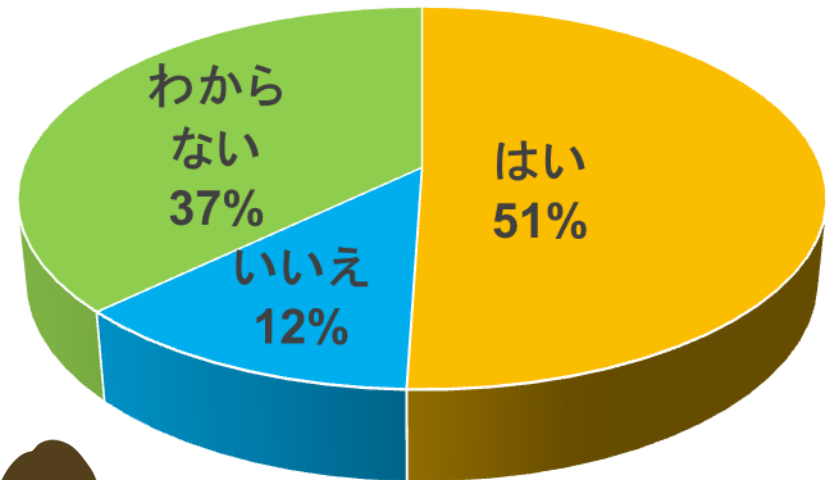
~ご協力、ありがとうございました~

*****11月末までに、組長さんか 班長さんへお渡してください*****

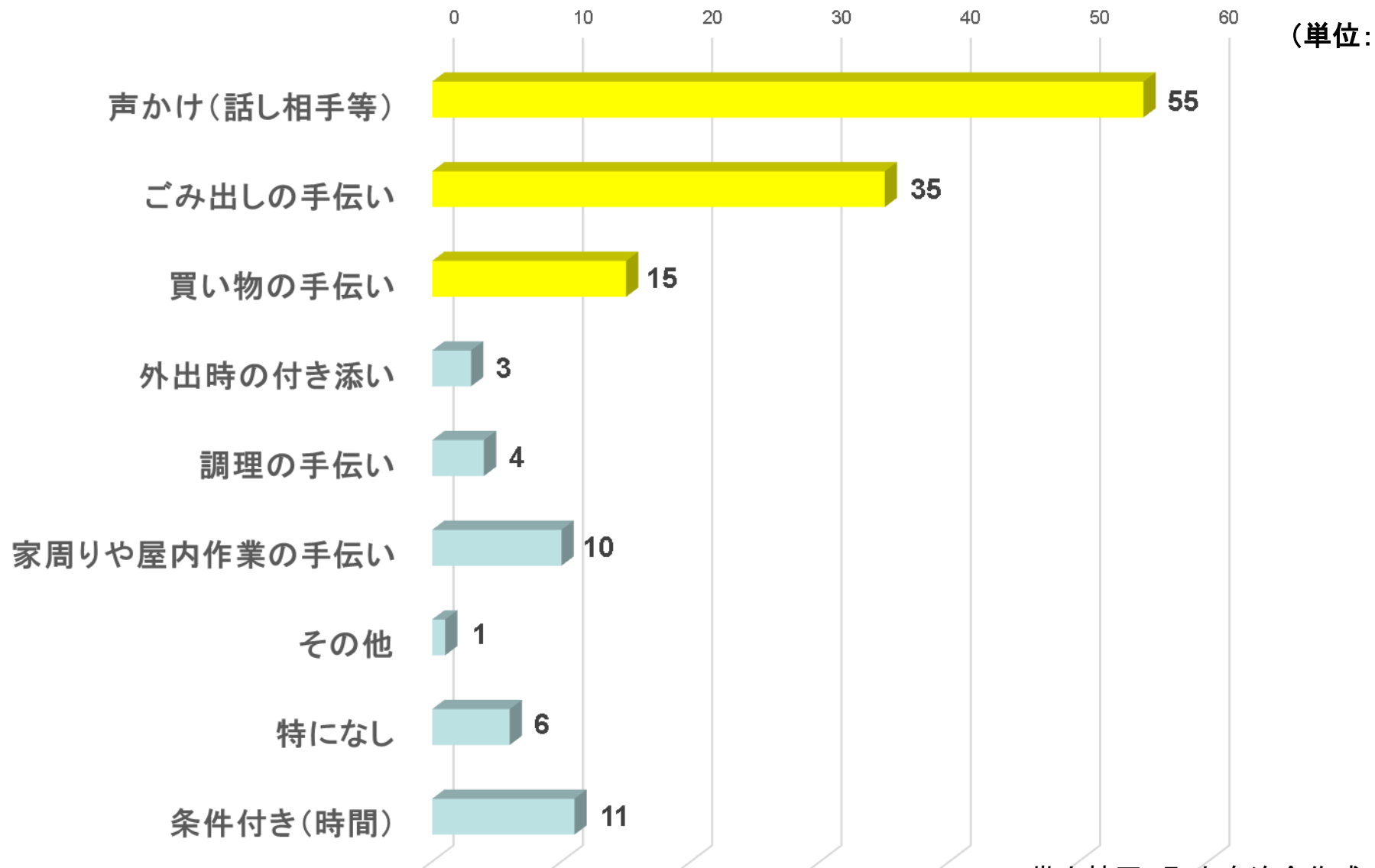
高齢者支援・要望調査アンケート 結果

● アンケート配布 500 回答 132 ▼返信率26.4%
(H28.12実施)

Q1 暮らしや健康、
趣味も含めて相談できる「気軽に集える場(おしゃべりなど)」が地域
にあれば利用したいで
すか？

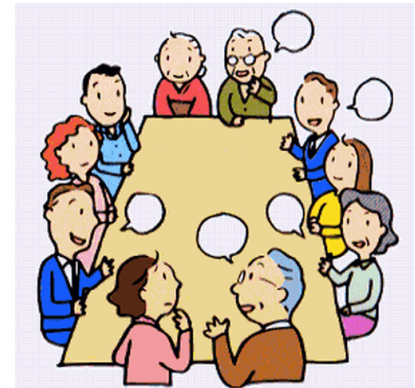


Q4 近くにお住いの高齢者のために何か出来ることはありますか



アンケート結果から見えてきたこと

- 集える場（おしゃべりなど）が地域にあれば利用したいと思う
- と思っている方が過半数いて、健康に対する思いが強い。
- また、してもらえばかりではなく、声かけや買い物の手伝い等
- してあげたいと思っている人が多くいる事。



地域リーダーの視察・見学会・学ぶ機会の設定

・自分たちへの転換(「自分ごと」にする)

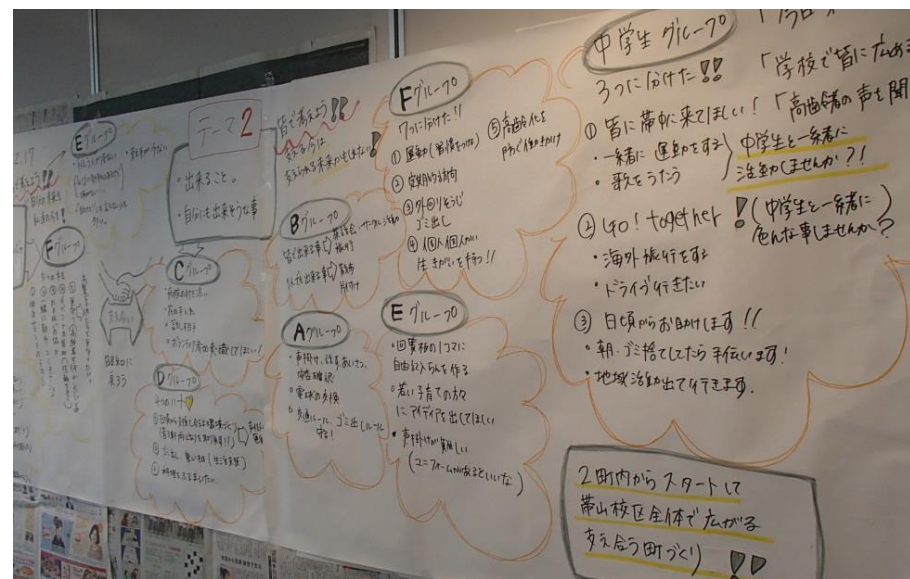
先進地視察—合志市—

■目指す姿をつくる
為の情報収集
(共通体験)





- 住民が計画を実施できること
- 住民が3つの活動に参画できること
- 住民が他の町内、校区と交流を促進していること
- 中学生、大学生などの若者の発想を活かせる仕組みづくりとなっていること



ワークショップ
—2町内の未来を語ろう—

ワークショップ① -2町内の未来をつくろう- リハーサル



- 共感と感動を伝える
(エンパワメント)
- プログラムのチェック

■ゴールに向けて、自分たちが何をするかという具体案（収束型のワークショップ）



ワークショップ
—2町内の未来をつくろう—



新たに、託麻原校区、帯山西校区の社協長、民児協会長、自治会長、老人会長の参加



■新たな課題発見と
介入への検証

ほがらかサロン

- ・ 定期開催／月
- ・ **午後は、フリーサロン**

お助け隊

- ・ ニーズに応じて実施
- ・ **システムづくり（再編）**

健康づくり活動

- ・ 夜開催／毎週
- ・ **昼間も開催／月**

高齢者のニーズに応じた 「お助け隊」による生活支援サービス事業

「お助け隊」の担い手、受け手のアンケート調査(全戸回覧)



お助け隊事業の流れ

	お助け隊会員	事務局	利用者	
1 登録	会員登録	名簿登録	会員登録	
2 利用料		2,000円分+ 手数料100円 500円券4枚	チケット購入	本溪市500円券4枚販売 500円のうち100円は事務局経費
3 受付	会員	活動要請	依頼	合志市は会員同士で連絡 300円券5枚を1,100円で販売
4 実施	活動実施	(直接)	確認	100円が事務局経費
5 支払い	チケット受領 報告・請求 支払い	月末しめ 翌月	チケット	熊本市シルバーは後日返込

H29.5.17

事務局： 毎月第3木曜日午後「いわね」常駐
携帯電話：中村、吉田、倉永

活動日： 毎週火曜日、木曜日、日曜日の午後(14:00~16:00)
通院介助などの定期的なものは除く
声掛け安否確認：金曜日午後の子ども見守り隊のあと

「2町内お助け隊」隊員募集

回覧

誰もが住みなれた街で自分らしく暮らせるために「困った時はお互いさま」

地域の手助け（高齢者への支援）活動をめざして!!

団塊・シニア世代の地域デビューのきっかけに！

下記作業を行いながら、御高齢者の見守り活動などを自分の得意な分野を活かしてみませんか？

「業者に頼む程ではない」と言って自分では出来ない作業等を地域の力でなんとか出来ないものか？と考え「2町内お助け隊」の結成を目指し、
隊員（下記作業のお手伝いができる方）を募集します

……作業内容(例)……

- * 地震災害予防(家具の転倒防止)工事
- * 電球・蛍光管の取替え・時計や電燈などの取付、棚の組立て
- * 室内家具等の移動、粗大ゴミ・不用品処理の手伝い、庭の除草

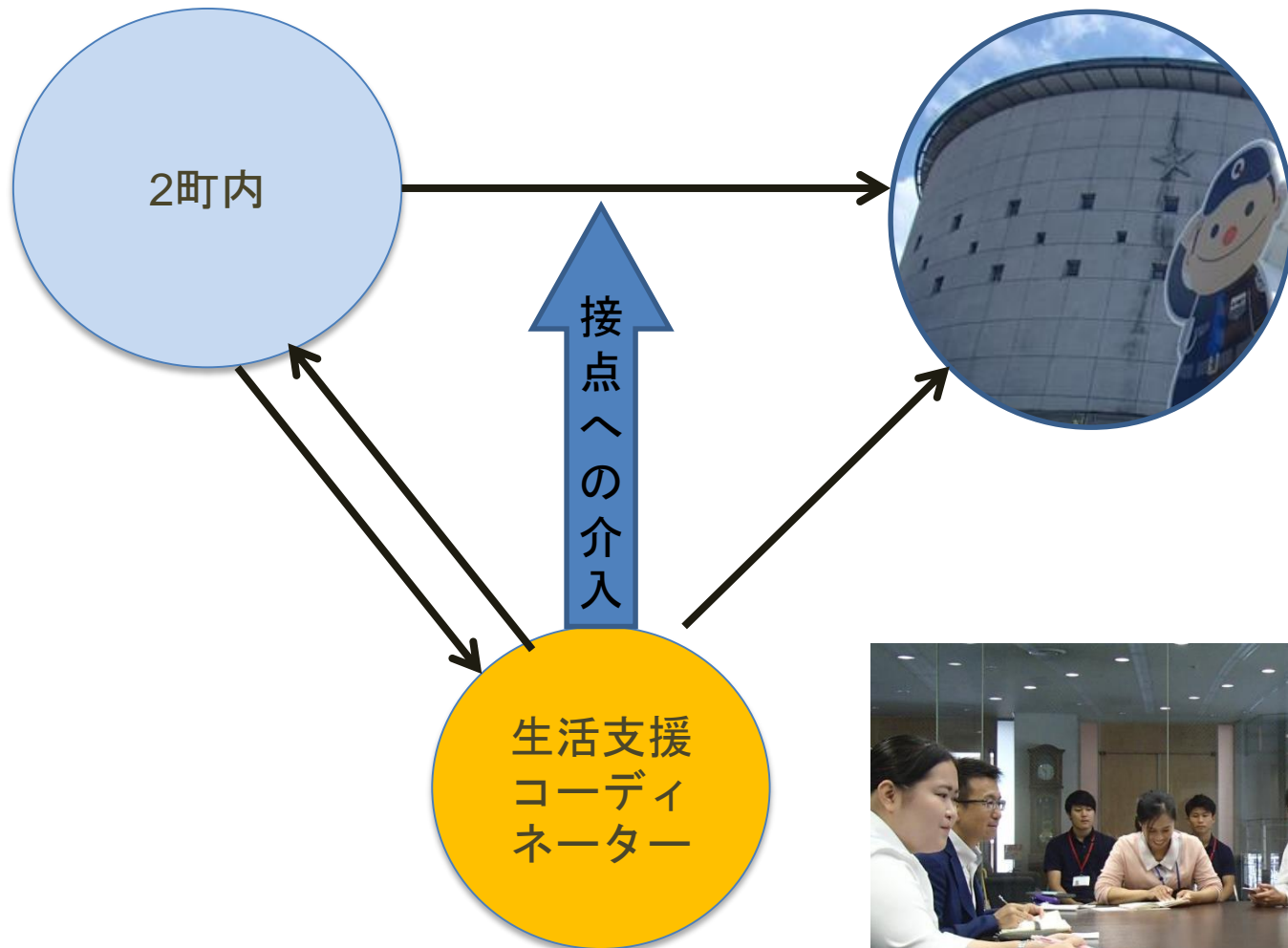
一般企業との協働

■企業と地域の良好な適合関係になるように介入



お助け隊と地元企業との連携

・コールセンター担当(平成30年2月設置)特集放映





お助け隊のおかげです！

平成30年2月～6月までの実績

	受付電話の内容	件数	備考
2月	遠方への買い物	1件	同行にて対応。⇒自治会へ加入
3月	電球交換	1件	
4月	草取り、庭掃除、木の枝切	4件	木の枝切は対応できる範囲
5月	ゴミだし(新聞紙)	2件	
6月	スズメバチの駆除相談	1件	植木屋に聞いて、お助け隊にて対応。

※家の中の片づけ。⇒民生委員が対応後介護保険利用

課題：日頃の関係から直接の依頼がある場合について。
独居や老々外の方への対応について

熊本市中央区生活支援コーディネーター連絡会（毎月1回） 各校区の社会資源の情報交換

大江校区
ちょっとボランティア

出水南校区4・5町内
おたがいさま隊

それぞれの取り組みの中で情報共有できないものか・・・

でも、ここだけでの共有だけでははもったいないな・・・

できれば、生活支援をやってみたいと思っている方達にも・・・

帯山校区2町内
お助け隊

碩台校区17町内
モデル事業

東区 山ノ内校区
暮らし応援協力隊

ちよつとよそ者

いつも6人で・・・
情報を繋ぎ合わせながら
「6カ所の包括（19校
区）でやった方がより効果
的な事」



情報交換会開催（7月17日）



東区 山ノ内校 3町内
老人クラブ 暮らし応援協力隊



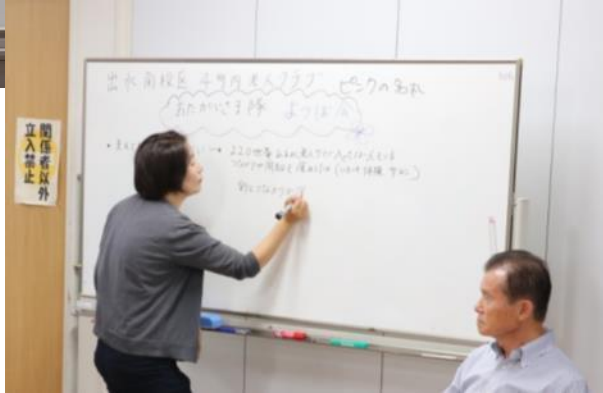
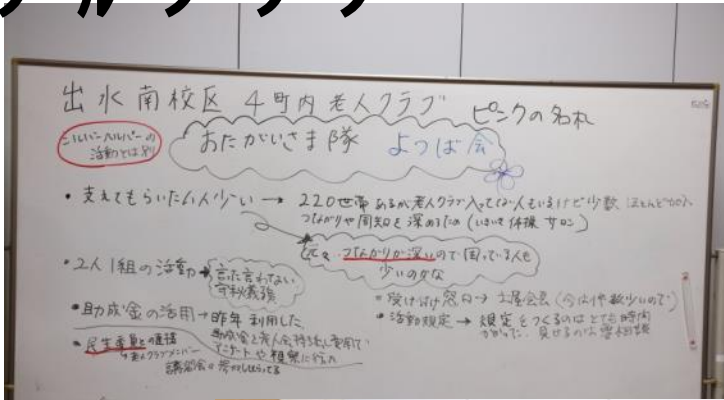
中央区出水南校区4町内
老人クラブおたがいさま隊



中央区帯山校区2町内
自治会お助け隊



グループワーク



ねらい

- ・それぞれの団体の推進力の向上
- ・自己効力感の向上
- ・行政が身近に参加することで安心感
- ・身近な先進地事例からの波及効果
(町内(地縁組織)→校区→区→市→県)



間接援助活動のプロセス

- 1、環境の変化をめざす
- 2、影響力のある人を関与させる
- 3、サービスの調整
- 4、プログラムの計画、展開
- 5、組織を変化させる

